



ヒーターは空気中では、
高温になり危険です。
正しく使いましょう。

取扱説明書

この製品は日本国内専用です
FOR JAPAN USE ONLY

温度固定式屋内観賞魚飼育水槽専用ヒーター

セーフカバーオートヒーター20・36・55・120・160

金魚元気オートヒーター55・120

メダカ元気オートヒーター20・55・120

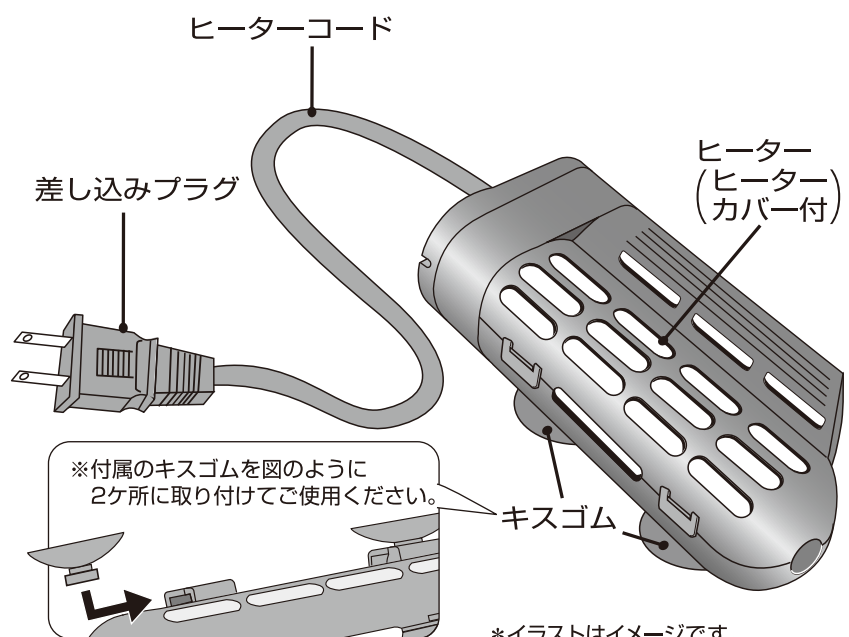
熱帯魚元気オートヒーター80

安全上のお知らせ

ヒーターは消耗品です。コードが硬くなったり、白く変色していたら交換の目安です。より安全にお使いいただくために、1年を目安に交換することをおすすめします。

各部の名称

⚠ 警告 重大な事故の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	●通電中は空気中に出さない。	火災、ヤケドの原因になる。
!	●必ずキスゴムで水槽に固定する。	火災、器具損傷の原因になる。
⊘	●バケツ・プラケースなどで使用しない。	火災の原因になる。
	●器具の上に置かない。	火災の原因になる。
🔌	●水槽の清掃時は差し込みプラグを抜く。	感電の原因になる。



*イラストはイメージです。
実物と多少異なる場合があります。

ダブル

W通電遮断機能

1番目の
通電遮断機能
温度センサー + 2番目の
通電遮断機能
温度ヒューズ

万一、通電した状態でヒーターが空気中に出ると、安全のため1番目の通電遮断機能が働き、通電をストップします（自動復帰タイプ）。

1番目の通電遮断機能が壊れてしまった場合には、2番目の通電遮断機能（温度ヒューズ）が働き通電をストップします。

*通電遮断機能は誤った使用時におけるヤケドや火災の発生を低くするもので、ヤケドや火災を完全に防ぐ機能ではありません。

また、2番目の通電遮断機能（温度ヒューズ）が働くと、再使用できませんので絶対にヒーターを通電した状態で空気中に出さないようにしてください。

このたびは、「オートヒーターシリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、温度固定式屋内観賞魚飼育用保温器具です。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに保管してください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。

⚠ 拡大損害および器具損傷が予想される事項

⊘ 禁止行為 ⊘ 分解禁止 ⊘ めれ手禁止

! 必ず行う 🔌 差し込みプラグを抜く

😊 おすすめしたい項目

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- この説明書は保証書を兼用しています。大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

■もくじ■

① 各部の名称	1
② 安全上のご注意	2
③ 使用方法	3-5
・ご使用前に製品のことを	3
・ご理解ください	
・取り付け方	3
・取り外し方	4
・お手入れ方法	4
・保管方法	5
④ 故障かな？と思ったら	5
⑤ Q&A	5
⑥ 基本仕様	5
⑦ 製品ユーザー登録について	6
⑧ 保証書	6

本製品のサポートのため「製品ユーザー登録」をお願い致します。
くわしくは6ページをご覧ください。

安全上のご注意

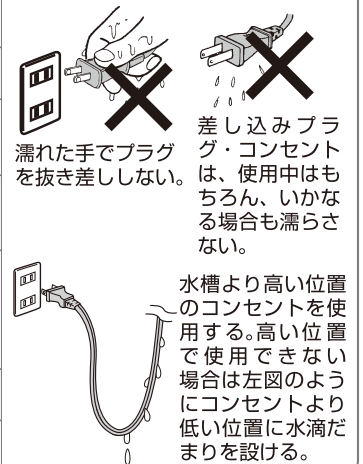
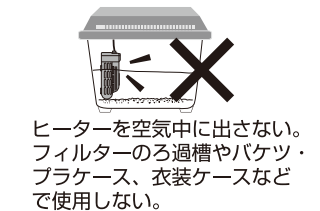
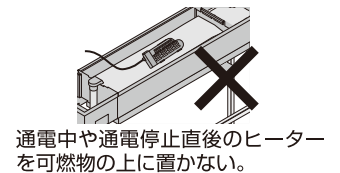
【ご使用の前によく読んでください】



警告

重大な事故の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	●本書記載以外の用途に使用しない。	火災、器具損傷の原因になる。
⊘	●分解、改造しない。	火災、感電の原因になる。
⊘	●屋外で使用しない。	火災、器具損傷の原因になる。
⊘	●通電中にヒーターを空気に出さない。 ●通電中や通電停止直後のヒーター、ヒーターカバーに触らない。 ●ヒーターカバーを外したまま使用しない。	ヒーター管の表面温度が約300度になり、火災、ヤケドの原因になる。
⊘	●屋内観賞魚飼育水槽以外の用途に取り付けや使用をしない。	火災の原因になる。
⊘	●カメの飼育には使用しない。	火災の原因になる。
⊘	●通電中や通電停止直後のヒーターを可燃物の上に置かない。	火災の原因になる。
⊘	●ヒーターを空気に出さない。フィルター、ろ過槽やバケツ、プラケース、衣装ケースなどで使用しない。	火災の原因になる。
差し込みプラグ、コンセント、コードについて		
⊘	●差し込みプラグ、コンセントは濡らさない。	火災、感電の原因になる。
⊘	●たこ足配線はしない。	火災、感電の原因になる。
⊘	●差し込みプラグを抜くときは、コードを持たず、差し込みプラグを持って抜く。	コードがショートや断線して、火災、感電の原因になる。
⊘	●コードを傷める行為（曲げる、引っ張る、束ねる、重いものを載せるなど）はしない。	コードがショートや断線して、火災、感電の原因になる。
!	●コンセントが水槽より低い位置にある場合は、必ず水滴だまりを設けて、水滴がコンセントに流れ込まないようにする。	火災、感電の原因になる。
⊘	●日本国内AC100Vの電源以外では使用しない。	火災の原因になる。
⊘	●差し込みプラグは濡れた手で抜き差ししない。	感電の原因になる。



注意

ケガや器具損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
!	●子供に操作、セットさせる場合は、必ず大人の監視のもとで行う。	ヤケド、器具損傷の原因になる。
⊘	●ヒーターが加熱状態での水中投入をしない。	器具損傷の原因になる。
⊘	●本体を高所から落下させるなど、強い衝撃を与えない。	器具損傷の原因になる。
⊘	●ヒーターを取り出す時は、コードを引っ張って取り出さない。	器具損傷の原因になる。
⊘	●ヒーターに石を載せたり、砂をかけたりしない。	器具損傷の原因になる。
⊘	●ヒーターにマグネットなど磁気が発生するものやモーターなどの雑音が発生するものを近づけない。	異常動作の原因になる。



使用方法

【ご使用前に製品のことをご理解ください】

■ヒーターの交換時期について

ヒーターは消耗品です。コードが硬くなったり、白く変色していたら交換の目安です。より安全にお使いいただくために、1年を目安に交換することをおすすめします。

■通電遮断機能（温度ヒューズ）について

本体が高温になると、安全のため通電遮断機能（温度ヒューズ）が働きます。ただし一度通電遮断機能（温度ヒューズ）が働くと、本製品は使用できません。

■本製品には、水温を下げる働きはありません。

■稚魚やエビなどヒーターカバーの穴より小さな生体を飼育する場合は、中に入り込み死亡する場合があります。

■ヒーターカバーの表面が白くなっている場合がありますが、製品には問題ありません。

■ヒーター管から内部の部品が見えますが、故障や不具合ではありません。

警告 重大な事故の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
!	●使用中に水が減った場合でも、ヒーターが水面から露出しないよう、必ず水没した状態で使用する。 ※特に長期外出時はよく確認する。	ヒーターカバーが溶けたり、ヒーター管が割れ、火災の原因になる。
⊘	●ヒーターに傷がある場合は、使用しない。	感電、器具損傷の原因になる。

【取り付け方】

●ヒーターカバーはヒーター本体のお手入れ時以外、取り外さないでください。

●差し込みプラグは、水中にヒーターを設置してから差し込んでください。

1.新しく水槽を立ち上げる場合は、水槽内に約2/3の水を入れ、お湯と水を交互に足し水温計を見ながら希望の水温に調整する。（図中①参照）

※冷水を入れて設定した場合、希望水温になるまでは季節や水量によっては、数時間かかる場合があります。

※水温計（別売）をご用意いただき、水温を管理してください。

■水を攪拌するために、エアレーション用エアープンプ、または、ろ過装置をご使用ください。

2.ヒーターカバーにキスゴムを取り付け、水槽内面に固定する。（図中②参照）

※水中でヒーターを傾けてヒーター本体内の空気を抜いてから取り付けてください。

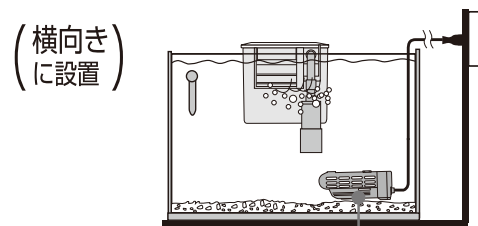
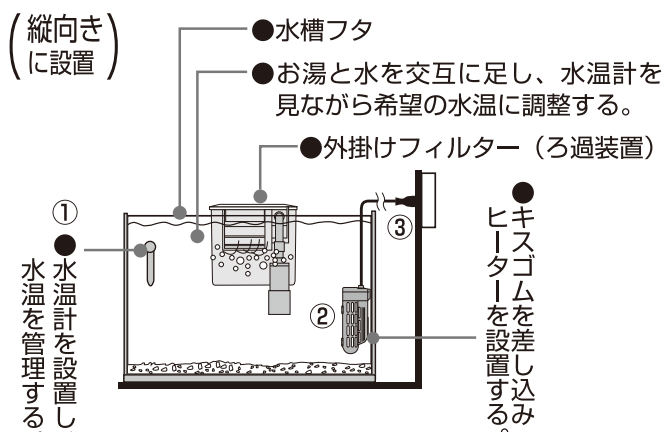
※ヒーターは水槽の水が攪拌されている深い位置で、砂利などのかからない場所に設置してください。

※必ず水槽フタを水槽に設置してください。

3.ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込む。（図中③参照）

●一度、濡れた手指をタオルで拭いてください。

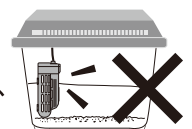
【取り付け図】



* 横向きに設置する場合は図の向きに設置してください。

【間違った取り付け方】

バケツ・プラケースなどで使用しない、ヒーターを空気に出さない。



使用方法

⚠ 警告 重大な事故の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●通電中にヒーターを空気中に出さない。	火災、ヤケドの原因になる。
	●水槽内に手を入れる時は、差し込みプラグを抜く。	感電の原因になる。
	●差し込みプラグは濡れた手で抜き差ししない。	感電の原因になる。
!	●海水を入れた水槽に使用する場合は、特にこまめに点検し、本体やコンセント、差し込みプラグの塩分や汚れをこまめに拭き取る。	塩分が器具やコンセント、差し込みプラグに付着し、発火、感電の原因になる。
	●コンセントや差し込みプラグの刃及び刃の取り付け面は定期的に汚れやほこりをふき取る。	火災の原因になる。
	●ピラニアなど歯の鋭い魚を飼育する場合は、水槽内のヒーターコードにカバーをかけ、噛まれないようにする。	火災、感電の原因になる。

⚠ 注意 ケガや器具損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●通電中や通電停止直後のヒーター、ヒーターカバーには触らない。	ヤケドの原因になる。

【取り外し方】

1. 差し込みプラグを、コンセントから抜く。
2. 15分以上放置してから、ヒーターを取り出す。
※布などで器具の水気をふき取りながら取り出してください。

⚠ 警告 重大な事故の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●魚の出し入れ、水槽のお手入れ等、水中に手を入れる時は、差し込みプラグを抜く。	感電の原因になる。

【お手入れ方法】

＜日常のお手入れ＞

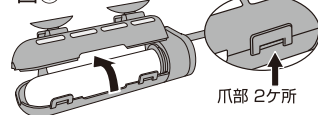
コード、差し込みプラグをかたく絞った布で、ほこりなどをふき取ってください。

＜ヒーター管の汚れがひどい場合＞

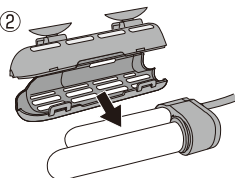
1. ヒーターカバーを取り外し、汚れを洗い流す。
 - ヒーターカバーは爪で固定されています。爪を開いて外してください。(図①参照)(20、36、55、80の場合は2ヶ所)(120・160の場合は4ヶ所)
 - ヒーターカバーからヒーター本体を取り出してください。(図②参照)
 - ヒーターのしつこい汚れはスポンジなどを使って、水で洗い流してください。
 - ガラス管にキズがつくと破損の原因になるため、金属タワシなどの硬いものでこすらないでください。

■20、36、55、80の場合

図①

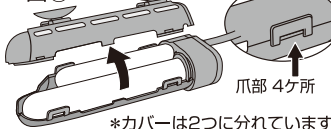


図②

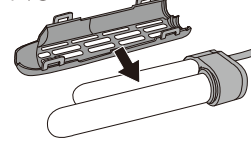


■120・160の場合

図①

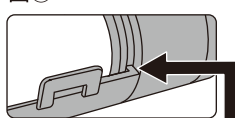


図②



*カバーは2つに分れています

図③



この突起部をはめる

2. ヒーターカバーを戻す。

- ヒーターにヒーターカバーをセットし、カバーの根元側の固定部を溝にきっちりはめて(図の矢印)、爪で固定してください。(図③参照)
※ヒーターカバーの根元側の突起部がきっちり溝にはまっていないとカバーがずれて外れます。
- ※ヒーターカバーは必ず装着した状態で使用する。
- ※ヒーターカバーは破損した状態で使用しない。

⚠ 注意 ケガや器具損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●本製品を掃除する際、シンナー、ベンジンまたはアルコール及び有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しない。	器具損傷の原因になる。

	●万が一、ヒーターが故障した場合の水溫低下を防ぐために、交換用のヒーターをご用意されることをおすすめします。
--	--

【保管方法】

- お手入れ方法にしたがって、汚れなどを取り除く。
 - 購入時の箱などを使い、湿気の少ない冷暗所に保管する。
- 夏季など使用されない期間は、水槽から出して保管することをおすすめします。
●廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

故障かな？と思ったら

症 状	点検・処置
水温が設定温度より高い。	●夏季など、周囲温度が設定温度より高くありませんか？ ●水槽内の水は、攪拌されていますか？ ●水温計の故障や、水温計に誤差が生じていませんか？
水温が設定温度より低い。	●冬季など、周囲温度が低すぎませんか？ ●ヒーター内の電熱線が断線している可能性があります。 ●ヒーターの容量が、水量に対して小さすぎませんか？ ●通電遮断機能（温度ヒューズ）が働いてしまった可能性があります。（一度、通電遮断機能が働くと再使用できません。） ●水槽内の水は、攪拌されていますか？ ●水温計の故障や、水温計に誤差が生じていませんか？
水温が設定温度まで上がらない。	●水を攪拌するために、エアレーション用エアーポンプ、または、ろ過装置をご使用ください。 ●周囲温度が15℃未満であったり、水槽フタをしていない場合、水槽内の空気層が大きい場合（大きな容器に飼育水が少し入っている状態）は水温が上昇しにくい状況になります。
ヒーター管の一部が赤く見える。	●通電中に見えることがあります。故障や不具合ではありません。
ヒーター表面に固形物がついて焦げている。	●ヒーター表面についている餌、糞、カルシウムなどの固形物が焦げている可能性があります。お手入れ方法にしたがって、スポンジなどでこすり取ってください。
ヒーターから音がする。	●加熱中にヒーター高温部に水が接触することで湯沸かしのような音が発生する場合がありますが、故障や不具合ではありません。

Q&A

質 問	回 答
停電になりました。	●停電が復旧するまでお待ちください。 ●停電状態が長い時は、水温計で水温を確認ください。 ●復旧後、ヒーターが必ず水没している状態で作動している事を確認ください。
その他、ご使用に際して、異常と思われる場合は、ご使用を中止して、お買い求めの販売店もしくは当社にお問い合わせください。安全をご確認いただいた後、ご使用を再開してください。	

基本仕様

機種名	セーフカバー オートヒーター 20	セーフカバー オートヒーター 36	セーフカバー オートヒーター 55	セーフカバー オートヒーター 120	セーフカバー オートヒーター 160	金魚元気 オートヒーター 55	金魚元気 オートヒーター 120	メダカ元気 オートヒーター 20	メダカ元気 オートヒーター 55	メダカ元気 オートヒーター 120	熱帯魚元気 オートヒーター 80	
品名品目	観賞魚用ヒーター											
用途	屋内観賞魚飼育用											
適合 水槽 ※1	水容量	約8L以下	約12L以下	約18L以下	約48L以下	約64L以下	約21L以下	約60L以下	約8L以下	約18L以下	約48L以下	約26L以下
	水槽サイズ の目安	小型水槽			45cm 水槽以下	60cm 水槽以下	小型水槽	60cm 水槽以下※3	小型水槽		45cm 水槽以下	小型水槽
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz											
定格消費電力	20W	36W	55W	120W	160W	55W	120W	20W	55W	120W	80W	
制御温度※2	26℃固定型					18℃固定型		23℃固定型			26℃固定型	
温度設定精度※2	±1.5℃											
通電遮断機能	温度センサー＋温度ヒューズ											
製品サイズ	幅 長さ 高さ 4.7×9.6×3.8cm	幅 長さ 高さ 5.3×11.6×3.8cm	幅 長さ 高さ 5.3×14.4×4.2cm		幅 長さ 高さ 5.3×11.6×3.8cm		幅 長さ 高さ 5.3×14.4×4.2cm	幅 長さ 高さ 4.7×9.6×3.8cm	幅 長さ 高さ 5.3×11.6×3.8cm	幅 長さ 高さ 5.3×14.4×4.2cm	幅 長さ 高さ 5.3×11.6×3.8cm	
コード長	約0.9m											

- ※1.表中の適合水槽は、設置した水槽の周囲温度が15℃以上の環境で、水槽フタを使用する場合を基準としています。
 ※2.表中の制御温度と精度は、水槽内の水が適正に循環・攪拌されている状態の基準値です。
 ●周囲温度が15℃に満たない場合や、水の攪拌が不十分な場合は、希望水温にならない場合があります。ご注意ください。
 ●ヒーターの容量と水容量が適応していないと部品に負荷がかかり、故障や不具合の原因になるだけでなく、適切な水温コントロールができない場合があります。
 ※3.上部フィルター使用までの水容量に適応しています。外部フィルター使用時は水量が多くなり設定温度にならない場合があります。
 ●ご使用地域、設置場所によって温度環境が変わりますので、販売店の方にご相談ください。
 ●ヒーターは消耗品です。コードが硬くなったり、白く変色していたら交換の目安です。より安全にお使いいただくために、1年を目安に交換することをおすすめします。

製品ユーザー登録について

「製品ユーザー登録」特典のお知らせ

GEX製観賞魚用ヒーターをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社では、「製品ユーザー登録」をしていただいたお客様に限り、下記の保証規定にのっとり、**保証期間をお買い上げいただいた日から2年間に延長させていただきます。**

※ただし、消耗部品のキスゴム、ヒーターコードの劣化による硬化、著しいヒーター管の汚れや破損は保証対象外となります。

※保証期間延長中(お買い上げの日から1年を超えて2年以内)での製品保証対応は、販売店では行っておりません。

直接、下記「ジェックスサービスセンター」へご連絡ください。

「製品ユーザー登録」をしていただき、「保証書」、レシートまたは領収書を紛失しないよう大切に保管してください。

ご登録には便利なインターネット(パソコン、携帯電話など)をご利用いただけます。ご登録いただいたお客様にはサポート情報のお知らせや様々なプレゼント企画等をご提供させていただきます。詳しくはGEXのヒーター専用ページをご覧ください。

ジェックス ヒーター専用ホームページのご案内



ヒーターページQRコード

登録方法

●インターネットでの登録は

<http://www.gex-fp.co.jp/reg-pc/>

●携帯電話での登録は

<http://www.gex-fp.co.jp/reg-mb/>

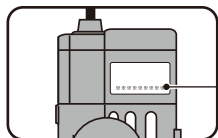
※QRコード対応機種の携帯電話は右のQRコードからもアクセスしていただけます。

※一部の機種で登録できない場合もございます。

■製品No.表示位置について

製品No.は本体定格ラベルにあります

(右図参照)



本体定格ラベル

※※※※※※※※※※

9桁の数字



ユーザー登録QRコード

GEX製品ユーザー登録をしていただいたお客様の個人情報の取り扱いについて

弊社は、当GEX製品ユーザー登録において、お客様がご登録になったお客様個人に関する情報(以下個人情報といいます)を、以下のように取り扱います。

●弊社は、個人情報の保護に関する法律を遵守したうえで、さらに最大限の注意を払います。

●弊社は、個人情報を以下の目的に利用させていただきます。

- ①お客様がご購入製品を使用されるに際してのサポートの実施
- ②お客様のご購入製品に対する満足度の調査
- ③お客様のご購入製品使用満足度を向上させるためのアンケートの実施
- ④お客様への弊社製品の案内等、製品に関する情報提供

●弊社は、個人情報を、以下の場合を除き第三者に対して開示いたしません。

- ①お客様の同意がある場合
- ②弊社と個人情報の保護に関する取り決めを行っている業務委託会社に対して、お客様に明示した収集目的を実施すべく個人情報を開示する必要がある場合
- ③統計的なデータとして、お客様個人を識別できない状態に加工した場合
- ④行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合
- ⑤法令に基づく場合

●弊社は、お客様から個人情報の照会、訂正、削除等のご請求があった場合、ご請求がお客様ご本人によるものであると確認させていただいた上で、法令の定めるところに従って、ご請求に応じるものと致します。

●弊社は今後、プライバシーの考え方や法令の改正により全部または一部を改訂することがあります。

保証書 持ち込み修理

本保証書は、本記載の内容で無料修理(部品交換)を行うことをお約束するものです。取扱説明書及び本体添付のラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買い上げの日から1年間以内に故障した場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理(部品交換)させていただきます。ただし、消耗部品のキスゴム、ヒーターコードの劣化による硬化、著しいヒーター管の汚れや破損は保証対象外となります。

★お買い上げ日		年	月	日	保証期間 お買い上げ日より1年間
★お客様	ご住所	〒			お名前
		TEL			
★販売店	住所				またはサイン
	店名	TEL			

★印欄に記入のない場合は無効です。必ず記入の有無をご確認ください。ただし、記入のない場合、本保証書とレシート、または領収書をご提示いただければ、下記保証規定により、保証させていただきます。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理(部品交換)をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証規定

1. お客様の取扱説明書及び本体添付のラベル等の注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。無料修理(部品交換)させていただきます。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも保証対象外になります。
 - (1) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下及び輸送上の故障及び損傷。
 - (3) 火災・塩害・ガス害・地震・風水害・落雷・異常電圧、及びその他の天災地変による故障及び損傷。
 - (4) 飼育されているペットによる故障及び損傷。
 - (5) 本書のご提示がない場合。
 - (6) 本書に、お客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 贈答品などでお買い上げ販売店に修理依頼できない場合には、当社へご相談ください。

■製品使用前に説明書をお読みになり、十分理解した上でご使用ください。ご不明な点は、販売店または当社へお問い合わせください。

誤った使用法、勝手な修繕・改造などによる故障などにつきましては補償いたしかねます。

■製品の製造管理には万全を期していますが、万一、当社の製造管理上の原因による品質不良がありました場合は、同等の新しい製品とお取り換えさせていただきます。それ以外の責任はご容赦ください。

■製品の仕様、デザイン、価格等予告なく変更する事があります。



このやさしさを人と社会へ

ジェックス株式会社

GEX URL <http://www.gex-fp.co.jp/>

〒578-0903 大阪府東大阪市今米1丁目14番15号

☎ 072-966-0054

「ジェックスサービスセンター」

